

# 伊藤文佐

号

伊藤蘆汀

いとう・ふみすけ

いとう・ろてい

福山藩儒者(福山伊藤家5代)

## 経歴

生:安永5年(1776年)

没:文政4年(1821年)10月、享年46歳、定福寺に葬る

寛政5年(1793年)	17歳	伊藤貞蔵(竹坡)の養子となる
寛政8年(1796年)11月17日	20歳	儒者見習となる
文化7年(1810年)12月13日	34歳	儒者本役、弘道館教授となる

## 生い立ちと学業、業績

### 生い立ち

安永5年(1776年)福山藩士川越氏の子として生まれた。  
字は文佐、名は良炳、号は蘆汀・産東、また斐恭先生。  
川越仁右衛門光崇の弟である。

### 職務と業績

福山藩儒。

寛政5年(1793年)伊藤貞蔵(竹坡)の女婿となり、寛政8年(1796年)11月17日儒者見習となる。

文化7年(1810年)12月13日儒者本役、弘道館教授に任じた。

菅茶山、鈴木宜山、中山南街、今村蓮坡、山岡機外などと交友が厚く、詩の応酬をした。

文政4年(1821年)10月、46歳で没した。定福寺に葬る。

### 伊藤家の相続

儒家としての伊藤家は、長子の伊藤健蔵(青藍)が家を嗣いだ。

出典1:『福山藩の文人誌』、57頁、濱本鶴賓著、葦陽文化研究所編刊、1988年7月27日

出典2:『福山藩の教育と沿革史』、136頁、清水久人著、鷹の羽会本部阿部正弘公顕彰会編刊、1999年8月20日

出典3:『近世後期の福山藩の学問と文芸』、74頁、福山市立福山城博物館編刊、1996年4月6日

出典4:『福山の今昔』、149頁、濱本鶴賓著、立石岩三郎刊、大正6年4月26日

2004年12月6日更新●2005年3月24日更新:本文・出典●2006年6月15日更新:タイトル●2008年2月12日更新:経  
歴・本文●2008年8月19日更新:本文●2010年3月18日更新:氏名・本文・出典●2010年3月30日更新:本文●